

平成30年度学校関係者評価結果の公表

学校として、今回の学校関係者評価結果を真摯に受け止め、来年度の教育活動に活かすと共に、保護者・地域に信頼される学校づくりに努めてまいります。今後とも本校の学校運営に対しまして、保護者・地域の皆様のより一層のご理解、ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

なお、以下に2月22日に開催しました学校関係者評価委員会に提示した資料及び学校関係者評価委員の皆様の評価の結果を掲載します。

- 1 学校関係者評価委員会の評価結果
- 2 学校関係者評価委員会提示資料
 - A 平成30年度学校経営方針
 - B 平成30年度学校評価計画
 - C 年間の主な教育活動のまとめ
 - D 研修・委託事業等のまとめ
 - E 生徒の活躍状況
 - F 学力・体力の状況
 - G 学校評価アンケート集約結果及び分析
 - H 学校所見

1 学校関係者評価委員会の評価結果

○ 平成30年度槻田中学校関係者評価委員

校区町内会役員	印藤 政子 様 (15年)
主任児童委員	北野 秀美 様 (5年)
前父母教師会会長	池田 知弘 様 (2年)
祝町市民センター館長	柴引 香代子様 (1年)
高槻市民センター館長	岩下 弘志 様 (1年)
槻田市民センター館長	仰木 富美子様 (1年)

※以下、学校評価委員様からのご意見を順不同で記載します。

① 平成30年度の学校運営状況について

- 変化の激しい時代において、その状況に応じて対応していると感じます。大変でしょうが、頑張ってください。
- 日頃の先生方とのコミュニケーションをよくとっているのではないかと、話を聞いて思いました。そこは一番大切なところだと思っています。ただ、校長先生の教育への熱さが先生方のペースを少し崩し、足並みが乱れない様、良い方向へ行ってほしいものだと思います。先生方本当に大変ですね。この努力が保護者に伝わるとよいですね。
- アンケートの項目も多く、細かい所まできちんと評価ができています。
- 学校経営方針・目標に向かい、制限の中、努力とともに改善が見られたのではないかと思います。
- 校長先生のお話を聞く限りでは、あまり問題は感じられませんでした。槻田中学校の環境は大変恵まれていると思います。
- 大変きめ細かな部分まで分析され、状況の把握に努めている。
- 分析の結果に対して、学校全体で前進するような取組をしている。
- 新しい校長先生を迎えられて、新たなスタートを切られた1年だったと思います。槻田中学校の伝統と新しい力を見事に融合されていると思います。これからも地域の為によりしく願います。

② 学校の自己評価（評価規準・教職員自己評価・保護者アンケート・生徒アンケート）結果について

- 保護者、教職員ともに自己に厳しい評価、それぞれの期待の大きさの裏返しと感じます。
- 他校ではなかなかしないであろうアンケートを、包み隠すことなく正直に自己評価し、これからの教育現場にかなり役に立つであろうと考えます。この結果を踏まえ、他では公表することのないような内容も知ることができ、これからの前向きな学校教育に役立つものと考えます。お疲れ様でした。
- 何が良くて何がだめなのかをよく把握されているので、学校運営がきちんとできていると感じました。
- 家庭学習について、通塾の生徒も多いのではないかと思います。アンケートは自宅学習のみの時間記入で、他校も記入の仕方悩んでいると聞いています。結果は概ね良いので

はないかと思えます。学校と保護者の連携は特に重要です。とても大変なこととは思いますが、信頼関係で乗り越えられることも多いと思えます。

○数値と折れ線グラフで表示されており、見やすい。

○家庭と学校の連携、つながりを十分に感じられるような時間がもてると良いと思えます。お互いに多忙で難しいと思えますが、発信し続けることも大切かと思えます。

○アンケートに表れない小さな問題にも取り組んでいただきますようお願いいたします。

③ その他

○評価プリントもきちんと用意され大変だったと思えます。上出来だと感じました。

○時間制限により大変だと思えますが、地域交流ができればと思えます。現在の地域貢献もうれしいことですが、一方通行ではなく互いにできる事（共存共栄）ができれば、結果地域の目で見守りもできます。

○不登校については心配な点ですが、校長先生に期待します。

○紙面の情報だけでは伝わりにくいことも、校長先生の熱い思いは口頭で聞ける場面を多くつくって頂けると幸いです。

○私どももこのような機会を頂けて大変有意義だと感じます。学校との距離感を少しずつ近づけて、お互いに相談できる場として大切に、理想です。

○2019年は地域とまちづくりでコラボレーションしていきましょう。

④ 検証の結果

○平成31年2月22日（金）18時30分～20時まで委員会を開催し、学校関係者評価委員様6名より回答を受けました。

○検証の視点

1 学校運営が適切に進められたか

A適切である Bほぼ適切である Cやや適切でない D適切でない

→ 委員様6名の評価

A・・・4名 B・・・2名 C・・・0名 D・・・0名

2 学校の自己評価が適切に行われたか

A適切である Bほぼ適切である Cやや適切でない D適切でない

→ 委員様6名の評価

A・・・4名 B・・・2名 C・・・0名 D・・・0名

評価委員6名より、「適切である」及び「ほぼ適切である」の評価を頂きましたので報告いたします。

※ 次ページから 2 学校関係者評価委員会提示資料 を掲示する。

A 平成30年度 北九州市立槻田中学校 学校経営方針

【本市教育の目標】

思いやりの心をもつ、自立した心をはぐくむ

《学校教育目標》

＜校訓＞「自律の心」「尊敬の情」「知能の力」

- 常に自分の考え、自分の意志と責任で行動できる、自律と自立の精神をあわせ持った心を育てる。
- 自分を大切にし、他者やすべての生命を尊重するとともに自然との豊かな関わりの創造に努める情を育む。
- 健やかな心と身体を持ち、真理や正義に基づいて、困難に耐え、未来を拓く知力や能力を身に付ける。

＜目指す学校像＞

- 教師と生徒、生徒相互が信頼関係で結ばれ、自己存在感や成就感を実感できる学校
- 明るく活気に溢れ、すべての生徒が生き生きと安心して生活できる学校
- 清潔で美しく、落ち着いた環境で学習や活動に集中できる学校
- 保護者・地域と連携しながら開かれた学校づくりを推進し、郷土に愛され信頼される学校

＜目指す生徒像＞

- 自ら考え、正しく判断し、責任をもって行動できる生徒
- 互助の精神をもって、社会・公共のために、広い視野で行動できる生徒
- 自他を敬愛し、心の交流のできる生徒
- 明るく挨拶をし、向上心溢れる生徒
- 学校（学級）を大切に、美しい環境（生活環境、学習環境）づくりのできる生徒
- 自他の生命を大切に、相手を思いやり、人の心の痛みや優しさを素直に感じ取れる生徒

＜目指す教師像＞

- 教育公務員としての使命を自覚し、自己研鑽に努める教職員
- 教育的な温かさと厳しさに溢れ、責任ある態度と教育実践で保護者、地域から信頼される教職員
- すべての教職員が一丸となり、常に行動連携をとる姿勢を見せることで生徒を魅せる教職員集団

※本年度の重点課題；「心の育ち」を考えた教育活動の充実、授業力向上推進校の取組

■平成30年度 学校経営「基調方針」

＜中間層が正義派生徒となる指導の実現＞

全ての教育活動、学年・学級活動で、特に、中間層（2・6・2）への以下の指導を意識する。



- ①部活動生徒を中間層の核となる生徒として位置づけ、基調方針に基づいて指導する。
- ②生徒会活動及び班長会等の学級活動による自治活動に力を注ぎ、中間層生徒が常にステップアップを目指すようにするとともに、荒れにつながる言動に対しては生徒の自浄能力がはたらくよう、基調方針に基づいて指導する。
- ③年間指導計画に生徒の「心の育ち」に繋がる原体験となるよう、豊かな体験活動を仕組む。

☆ 目標達成のためのキーワード「基礎・基本」と「感動」

→当たり前前が当たり前前に出来る生徒の育成を目指す。

B 平成30年度学校評価計画

- 1 学校運営説明会の実施（PTA総会時）
- 2 第1回学校関係者評価委員会（5月中旬）
- 3 学校自己評価の実施（12月下旬）
- 4 第2回学校関係者評価委員会（2月下旬）
- 5 学校運営報告会（3月上旬）
- 6 学校関係者評価結果の公表（3月中旬）

C 年間の主な教育活動のまとめ

- 4月 ○ 6日 着任式・始業式
○10日 第72回入学式
○11日 対面式
○17日 3年全国学力学習状況調査
○19日 生徒会朝のあいさつ運動 <生徒会活動>
○20日 部活動発足式
○21日 土曜授業（授業参観・修学旅行説明会・学級懇談会・PTA総会・部活動保護者会）実施
○23日 子ども読書の日の取組 <読書習慣化>
○23日 家庭訪問（5日間） <家庭との連携>
- 5月 ○ 1日 天疫神社大祭（吹奏楽部出演） <地域貢献>
○10日 1年ふれあい合宿説明会
○11日 3年修学旅行（関西方面・2泊3日） <感動体験>
○14日 教育実習開始（3週間）
○17日 PTA委員総会
○18日 第一回学校関係者評価委員会
○21日 2年高齢者疑似体験学習 <社会福祉教育>
生徒会朝のあいさつ運動 <生徒会活動>
○21日 朝読書活動（5日間） <読書習慣化>
- 6月 ○ 4日 ノーチャイム週間 <基本的生活習慣>
○ 6日 生徒総会 <生徒会活動>
○11日 1年ふれあい合宿（かぐめよし少年自然の家・2泊3日） <感動体験>
○11日 2年教育相談週間（5日間） <相談活動>
○12日 3年租税教室 <租税教育>
○14日 2年スクール救命士訓練 <防災教育>
3年私立高校説明会 <進路学習>
○19日 1・2年教育相談 <相談活動>
○20日 1学期末考査（3日間）
○22日 避難訓練（火災） <防災教育>
○25日 教育相談（4日間） <相談活動>
3年進路相談（4日間） <進路指導>
朝読書週間 <読書習慣化>
○26日 生徒会朝のあいさつ運動 <生徒会活動>
○29日 部活動激励会 <校風の醸成>
- 7月 ○ 3日 臨時休校（台風）
○ 4日 2年平和に関する指導 <平和教育>
○ 5日 授業力向上モデル授業公開（国語）
○ 7日 臨時休校（大雨による）
○11日 出前授業（東筑紫学園・演劇w s） <心の教育・進路指導>
○12日 2年認知症サポーター養成講座 <社会福祉体験>
1・3年平和に関する指導 <平和教育>

	生徒会朝のあいさつ運動	<生徒会活動>
	○13日 非行防止教室（子ども家庭局課長）	<規範教育>
	○17日 保護者懇談会（3日間）	
	○20日 終業式	
	○23日 3年ひまわり学習塾開始<毎週2日>	<学習習慣>
	○25日 校区えがおミーティング	<小中連携>
8月	○13日 <u>学校閉庁日（17日まで）</u>	
	○22日 夏の教室（5日間）	<学習習慣>
9月	○3日 始業式・シェイクアウト訓練	<防災教育>
	○4日 夏の課題テスト	
	○11日 生徒会朝のあいさつ運動	<生徒会活動>
	○16日 第72回体育大会	<感動体験>
	○22日 PTA4校親善スポーツ大会	
	○26日 暴力排除教室	<規範教育>
	朝読書週間	<読書習慣化>
	○28日 生徒会役員立会演説会・選挙	<生徒会活動>
10月	○1日 教育相談（3日間）	<相談活動>
	○4日 中間考査（2日間）	
	地域公園清掃（雨天中止）	
	避難訓練（地震）	<防災教育>
	○11日 渡辺智子スクールコンサート	<特別支援教育・感動体験>
	○12日 1年芸術鑑賞教室	<感動体験>
	2年農泊説明会	
	3年英語検定I B A	
	○15日 生徒会執行委員交代式	<生徒会活動>
	○20日 祝町市民センター文化祭（吹奏楽部出演）	<地域貢献>
	○22日 朝読書週間（5日間）	<読書習慣化>
	○25日 生徒会朝のあいさつ運動	<生徒会活動>
	○30日 学校開放週間（11月3日まで）	
11月	○3日 文化学習発表会	<感動体験>
	○6日 2年農泊体験学習（大分県玖珠町他）	<感動体験>
	○7日 3年連合音楽祭出演（響ホール）	<感動体験>
	○8日 3年進路説明会、公立高校説明会	<進路指導>
	○9日 3年学力定着テスト	
	○10日 高槻市民センター文化祭（吹奏楽部出演）	<地域貢献>
	○11日 槻田ふれあいまつり（吹奏楽部出演）	<地域貢献>
	○12日 教育相談	<相談活動>
	○19日 4校合同家庭教育学級	<小中連携>
	○20日 2学期末考査（3日間）	
	○22日 避難訓練（不審者）	<防災教育>
	○26日 生徒会朝のあいさつ運動	<生徒会活動>
	朝読書週間（5日間）	<読書習慣化>

- 27日 3年性教育<助産師> <性教育>
- 28日 3年クラスマッチ <感動体験>
- 30日 1年性教育(助産師) <性教育>
- 12月○1日 土曜授業・規範教育講演会(スマホ) <規範教育>
- 2日 祝町餅つきフェスタ(野球部・サッカー部・吹奏楽部参加) <地域貢献>
- 3日 2年スクールカウンセラーによる道徳授業 <心の教育>
- 人権週間の取組(5日間、明日への伝言板活用) <人権教育>
- 5日 オリ・パラ教育講演会 <心の教育>
- 11日 1・2年北九州市学力状況調査(2日間)
- 14日 保護者懇談会(3年のみ)
- 17日 保護者懇談会(19日まで)
朝読書週間(5日間) <読書習慣化>
- 21日 終業式
- 1月○8日 始業式、調査書作成委員会
- 9日 3年学力定着診断テスト
- 16日 中学校校区授業研修会 <小中連携>
- 22日 私立高校推薦入試(発表24日)
- 24日 1年書初め大会 <伝統文化>
- 25日 英語検定試験
- 28日 公立推薦入試調査書作成委員会
- 29日 私立高校一般入試(3日間・発表2月5日)
2年百人一首大会 <伝統文化>
- 30日 1年百人一首大会 <伝統文化>
- 31日 1・2年学力定着診断テスト
- 2月○2日 新入生への入学説明会 <小中連携>
- 5日 公立高校推薦入試(2日間・内定発表12日)
- 7日 3年保護者懇談会(2日間)
3年生を送る会リーダー研修会 <生徒会活動>
- 13日 公立高校調査書作成委員会
- 20日 学年末考査(3日間)
- 22日 第2回学校関係者評価委員会
- ※ 3月以降の予定**
- 3月 2日 土曜授業(1・2年のみ、もちつき) <伝統文化>
- 4日 3年生を送る会 <生徒会活動>
- 6日 公立高校入試(2日間) 5・6日 1・2年クラスマッチ
- 7日 3年同窓会入会式
- 8日 第70回卒業証書授与式(3クラス男子45名、女子46名 計91名)
- 13日 学年別班別研修(1年門司港周辺、2年福岡市) <感動体験>
- 14日 公立高校合格発表
- 17日 新入生物品購入
- 18日 2年性教育 <性教育>
- 22日 平成30年度修了式

D 平成30年度研修・委託事業等のまとめ

○北九州市教育委員会「授業力向上推進事業」指定校

○北九州市教育委員会「ひまわり学習塾」実施校

○校内教科等研修記録

年間	教科別研修会（全員）
4月16日	学力・体力向上3部会議
4月18日	学力・体力向上委員会
5月17日	学力・体力向上委員会
5月25日	学力・体力向上3部会議・委員会
6月1日	授業力向上提案授業公開（木村）及び協議会
7月5日	授業力向上モデル授業公開（推進員）・校内研修会
7月20日	学力・体力向上3部会議
8月9日	学力・体力向上3部会議
8月21日	授業力向上校内研修
11月30日	学力・体力向上3部会議
12月20日	学力・体力向上委員会
12月4日	学力・体力向上3部会議
12月13日～	北九州学調分析
2月4日	校内道徳研修会
2月19日	指導主事要請授業研究（松島）
3月19日	学力・体力向上3部会議

○学力向上推進教員来校日 毎週1日

○学力向上先進校県外視察 教頭（広島）・江藤（埼玉）・鋪田（東京）

○小中連携

8月25日	槻田中学校校区4校合同えがおミーティング
10月10日	中学校校区人権教育研修会（槻田小）
1月16日	中学校校区授業研修会（祝町小）
3月20日	小中連絡会

E 平成30年度生徒の活躍状況

○陸上部	中体連夏季大会	県・九州・全国大会出場 (110mH)
		県大会 4 種目出場
	中体連新人大会	県大会 2 種目出場
○女子ソフトテニス部	中体連夏季大会	(団体) 区内優勝 市内大会出場
	中体連新人大会	(団体) 区内優勝 市内大会出場
○野球部	中体連夏季・新人大会	区内惜敗
○サッカー部	中体連夏季大会	区内優勝 市内大会出場
	中体連新人大会	区内優勝 市内大会出場
○バレーボール部	中体連夏季大会	区内準優勝 市内大会出場
	中体連新人大会	区内準優勝 市内大会出場
○バスケットボール部	中体連夏季大会	女子区内準優勝 市内大会出場
	中体連新人大会	男女区内準優勝 市内大会出場
○吹奏楽部	北九州市吹奏楽コンクール	銀賞受賞
○剣道	中体連夏季大会	男女区内優勝 市内大会出場
	中体連新人大会	男女区内優勝 市内大会出場

☆**ボーリング** **全国中学生ボーリング大会 全国5位入賞**

☆ **平成30年度北九州市善行表彰「福原賞」受賞** **吹奏楽部**

F 学力・体力の状況(全国学習状況調査結果)

1 本年度の3年生の全国学習状況調査の結果は、

- ① 国語A（主として知識）は、全国平均と同程度であり、大きな差は見られない。
- ② 国語B（主として活用）は、全体的にやや全国平均を下回っていた。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国より10%低かった。
- ③ 数学A（主として知識）は、全国平均と同程度であったが、中位層が少なく、低位層がやや多い傾向にある。
- ④ 数学B（主として活用）は、全国平均を上回っていた。どの領域も全国平均より高い。
- ⑤ 理科は、全国平均を上回っていたが、記述式の正答率が低い。分析力、考察力の向上が求められる。

2 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査の結果は、

- ① 学習習慣がついてきている。
- ② 「自尊心・夢・目標」の項目が下がってきている。
- ③ 地域や社会への関心は高い。

3 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組
 - ・授業では、より話し合いによる深い学びをより充実させていく。
 - ・低位層の生徒に対して、放課後教室や質問教室など、何らかの手段を講じる必要がある。
- ② 家庭学習習慣等に関する取組
 - ・家庭学習への具体的なアプローチをする必要がある。
 - ・全国学調や北九州学調の結果公表を通じて、家庭生活のアナウンスをしていく。

4 本年度の体力調査の結果は、

本年度の体力調査の結果、2年男女ともに全国平均を上回っていた。特に男子は北九州市が全国政令市1位であった。地道に継続してきた体育科の取組が功を奏した結果である。今後も引き続き、取り組んでいきたい。

G 平成30年度学校評価アンケート集計結果及び分析

1 自己評価について

自己評価資料とするため、7月と12月に生徒・保護者・教師に相互関係にある同項目についてアンケート調査を実施した。3者◎、生徒と教師○、生徒と保護者△

アンケート内容

1(1)	自分から積極的にあいさつをしている。	◎
1(2)	先生たちは積極的にあいさつをしている。	◎
2	楽しく学校生活を送れている。	◎
3	先生から、学習の評価方法について、詳しく説明もらっている。	◎
4	学校は、生徒の家庭学習をサポートしている。	◎
5	学校(学年)行事に積極的に参加している。	○
6	学校便りや学級通信その他のプリントで、学校の様子がよくわかる。	◎
7	学校は清掃が行き届いている。また掲示物も工夫されている。	◎
8	学校は、いじめのない学校づくりのために努力している。	○
9	学校は、保護者・地域と協力して、教育活動に取り組んでいる。	◎
10	家庭では、運動やスポーツを積極的に行うことを勧められている。	△
11	家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる。(1日、1時間以上)	△
12	睡眠時間を十分に取っている。	△
13	毎日朝食を食べている。	△
14	授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自ら取り組んでいる。	○
15	授業では、生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	○
16	授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されている。	○
17	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っている。	○
18	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。	○
19	自分に良いところがあると思う。	○
20	将来の夢や目標を持っている。	○
21	人の役に立つ人間になりたいと思っている。	○

2 アンケート結果

学校評価を実施するため、21項目について生徒・保護者・教師にそれぞれの視点から、前期7月・後期12月にアンケート調査を行いました。

◎ 評価の規準

とてもあてはまる・・・A だいたいあてはまる・・・B

あまりあてはまらない・・・C まったくあてはまらない・・・D

◎ 調査の対象

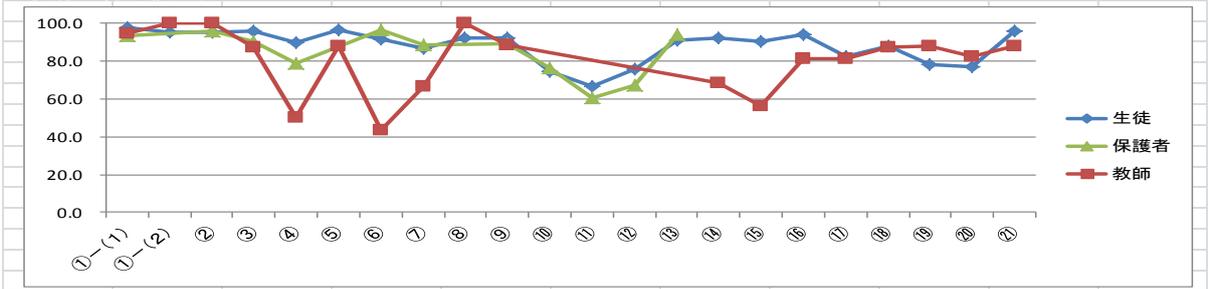
保護者231名／268名、生徒251名／292名、教師18名／18名

◎ 結果 単位は% A及びBと回答した合計を当てはまるとして、その数字を百分率で表示している。

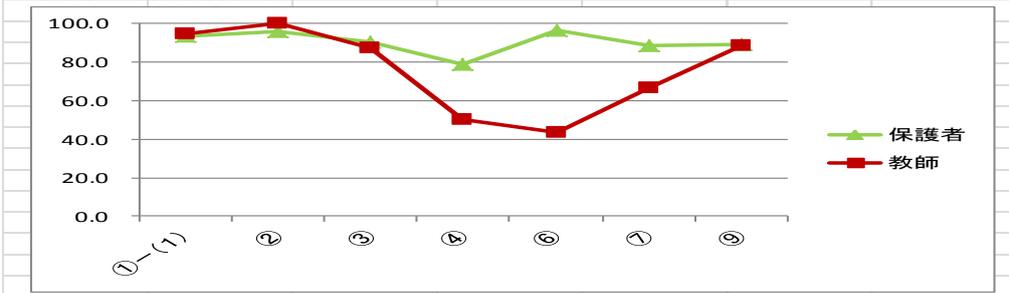
評価項目	生徒		教師		保護者	
	7月	12月	7月	12月	7月	12月
①- (1) 自分からあいさつをしている	96.9	97.8	88.9	94.4	96.5	93.3
①- (2) 先生たちは積極的にあいさつをしている	95.4	95.2	94.4	100		95.9
②楽しく学校生活を送れている	97.7	95.0	94.4	100	97.7	90.5
③先生から、学習の評価方法について説明を受けている	97.9	95.9	100	87.5	94.6	79.1
④学校は生徒の家庭学習をサポートしている	93.8	90.0	66.7	50.0	92.2	96.2
⑤学校(学年)行事に積極的に参加している	97.4	96.7	94.4	88.2		
⑥学校(学級)たより等で、学校の様子がよくわかる	92.8	91.8	61.1	43.8	90.5	88.4
⑦学校は清掃が行き届いている。また掲示物も工夫されている	91.4	86.9	83.3	66.7	91.6	89.5
⑧学校は、いじめのない学校づくりのために努力している	94.5	92.6	94.4	100		
⑨学校は、保護者・地域と協力して教育活動に取り組んでいる	92.4	92.4	94.4	88.9	95.9	76.2
⑩家庭では、運動等を積極的に行なうことを勧められている	81.4	74.5			87.0	60.3
⑪家庭学習に自主的に計画的に取り組んでいる	70.4	66.7			67.5	67.0
⑫睡眠時間を十分にとっている	84.3	75.6			69.7	93.9
⑬毎日朝食をとっている	88.4	91.3			90.5	
⑭授業では課題に対し、自ら考え自ら取り組んでいる	91.0	92.3	66.7	68.8		
⑮授業では、話し合い活動を通じ、自分の考えを深めたりしている	87.1	90.6	66.7	56.3		
⑯授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されている	95.8	94.3	83.3	81.3		
⑰授業の最後に振り返り活動を行っている	82.7	82.4	55.6	81.3		
⑱先生は理解していない所について、わかるまで教えてくれる	89.7	88.1	66.7	87.5		
⑲自分に良い所があると思う	78.4	78.3	88.9	88.2		
⑳将来の夢や目標を持っている	76.8	77.2	88.9	82.4		
㉑人の役に立つ人間になりたいと思っている	94.9	95.8	88.9	88.2		

3 比較グラフ

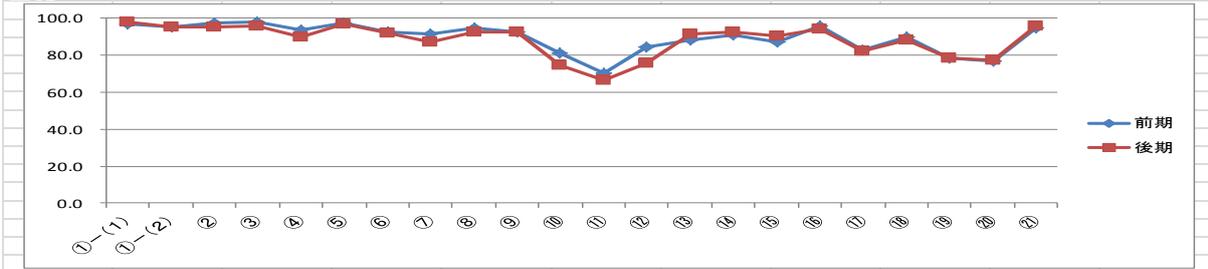
2学期 3者比較グラフ



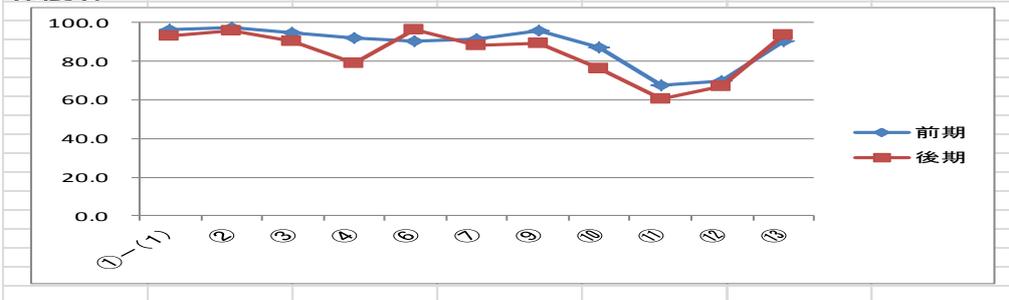
2学期 2者比較グラフ



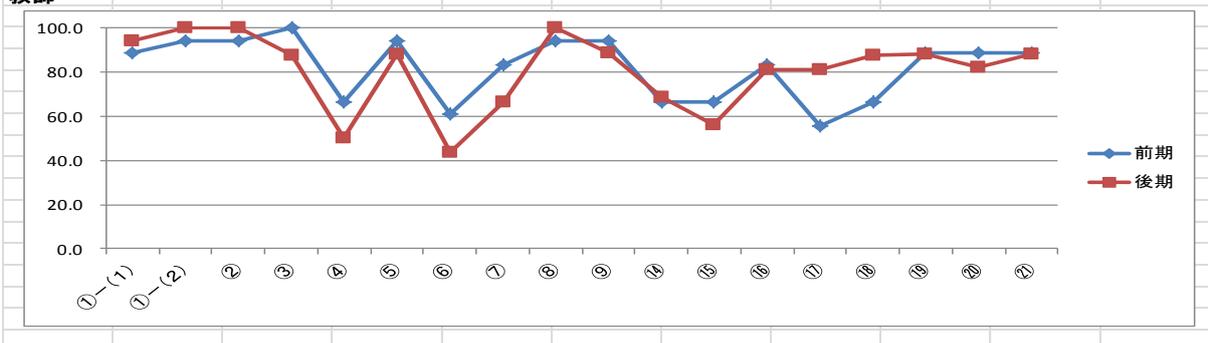
生徒



保護者



教師



4 学校評価アンケート集約結果

① 生徒の前後期比較より

○前期より後期の数値が顕著に上昇している項目

- ・項目1ー(1) 自分から積極的に挨拶をしている
- ・項目13 毎日朝食を食べている
- ・項目14 課題に自ら考え取り組んでいる
- ・項目15 授業で、話し合い活動を通じて自分の考えを深め、広げた
- ・項目20 将来に夢や目標を持っている
- ・項目21 人の役に立つ人間になりたいと思っている

○前期より後期の数値が顕著に下降している項目

- ・項目4 学校は生徒の家庭学習をサポートしている
- ・項目7 学校は清掃が行き届いている、掲示物も工夫されている
- ・項目10 家庭では、運動やスポーツを積極的に行う事を進められている
- ・項目11 家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる
- ・項目12 睡眠時間を十分にとっている

② 保護者の前後期比較より

○前期より後期の数値が顕著に上昇している項目

- ・項目12 睡眠時間を十分にとっている
- ・項目13 毎日朝食を食べている

○前期より後期の数値が顕著に下降している項目

- ・項目2 楽しく学校生活を送れている
- ・項目3 先生から、学習評価方法について詳しく説明をもらっている
- ・項目4 学校は、生徒の家庭生活をサポートしている
- ・項目9 学校は、保護者・地域と協力して、教育活動に取り組んでいる
- ・項目10 家庭では、運動やスポーツを積極的に行う事を進められている
- ・項目11 家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる

③ 教師の前後期比較より

○前期より後期の数値が顕著に上昇している項目

- ・項目1ー(1) 自分から積極的に挨拶をしている
- ・項目1ー(2) 先生たちは積極的に挨拶している
- ・項目2 楽しく学校生活を送れている
- ・項目8 学校はいじめのない学校づくりのために努力している
- ・項目14 課題に自ら考え取り組んでいる
- ・項目17 授業の最後に振り返り活動を行っている
- ・項目18 理解していない所についてわかるまで教えてくれる

○前期より後期の数値が顕著に下降している項目

- ・項目3 先生から、学習評価方法について詳しく説明をもらっている
- ・項目4 学校は家庭学習のサポートをしている
- ・項目6 学校だよりや学級通信などで学校の様子がわかる
- ・項目7 学校は清掃が行き届いている、掲示物も工夫されている
- ・項目15 授業で、話し合い活動を通じて自分の考えを深め、広げた

④ 後期3者比較からの分析

○項目④、⑥、⑦、⑭、⑮、⑯で、教師の回答が、保護者や生徒との回答と大きく差があり、分析の必要がある。

- ・項目④は、生徒・保護者はできていると判断しているが、教師は生徒の家庭学習のサポートが不十分だと判断している。本年度、学校は学力向上3部会において、家庭学習を取組の項目に挙げて取り組んできているが、教師側がより納得できるサポートができるように、今後検証の必要がある。
- ・項目⑥は、生徒・保護者はできていると判断しているが、教師は、学校だよりや学級だよりなど、十分に情報発信できていないと判断している。実際には、職員の3分の1は担任外であるので数字が下がるのは致しかたない部分はあるが、来年度、様々な分野から広く保護者に情報提供できるよう、努めていきたい。
- ・項目⑦は、生徒・保護者はほぼできていると判断しているが、教師の数値は低い。学校内の掲示物は、本年度当初から各教室共通な掲示をしたり、各担当で工夫がされており、他校と比べて、そんな色ないと考えているが、清掃については、校舎の老朽化できれいとは言えない状況ではあるが、委員会活動として美化コンクールなど行い、美化意識を高める工夫は行っている。来年度、さらに美化意識を高められるよう努力する必要がある。
- ・項目⑭は、生徒の反応はよいが、教師はまだまだ十分ではないと判断している。今後の新学習指導要領を見据えて、本年度試行してきた所だが、より生徒の能力を伸ばしていけるように、今後校内研修等により、検証していきたい。
- ・項目⑮は、授業中の話し合い活動の状況を問う項目であるが、今後の学習指導要領改訂での目指すものであり、本年度、各教科で試行を始めたものである。この項目も生徒の数値は上昇しており、一定の成果は出てきていると感じる。しかし、教師の捉え方は、単元内のできる所でと考えており、1単位時間すべてでは十分に出来ないことのジレンマが数値に表れている。今後の課題である。
- ・項目⑯は、生徒の数値が高い反面、教師の数値は低い。授業中のめあて・まとめの明示については、本年度重点を置いて取り組んだが、めあてとまとめのつながりや質の部分で、まだまだ不十分であることを教師側が意識している表れであると判断する。来年度研修を通して、生徒の学力向上目指し、力量を深めていきたい。

⑤ 後期2者（保護者と教師）比較より

○項目④、⑥、⑦で、保護者のよい評価に対して、教師側の評価が低い。3者比較で分析した項目であり、今後、学力向上3部会及び学年末反省の際に、次年度に向けての改善策を検討したい。

⑥ 後期2者（保護者と生徒）比較より

○項目⑩から⑬までは、家庭での生活習慣を尋ねたものである。生徒と保護者ともに他の項目に比べて、低くなっている。特に家庭学習については課題があると言える。この項目は全国的にも低位にある項目であるが、この克服のためには、学校と家庭の協力が不可欠であり、今後の学力向上にも大きくかかわってくるものである。今後、学校も課題の提供方法等で協力していきたい。

H 学校所見

- ① 本年度、学校教育目標の達成を目指して、全教職員で共通理解を図り、年間計画を立て、「基礎・基本」と「感動」をキーワードにして教育活動を行ってきた。特に2年後の新学習指導要領実施に向けて、スムーズに移行するため、北九州市教育委員会「授業力向上ステップアップ事業」の推進校として、校内組織に学力向上3部会を設立し、年間を通して、全職員で授業改善に取り組んできた。しかしながら、まだまだ道半ばであり、職員の自己評価は低位にある。来年度、引き続き授業改善に努め、新学習指導要領へのスムーズな移行を果たしたい。また、教育活動については、ほぼ年間計画通り進めることができた。本年度のアンケートの集計結果を見ると、生徒・保護者ともに、学校の教育活動への満足感はまずまず掴むことができた。しかしながら、学習評価についての丁寧な説明や家庭での生活については、アンケート集計結果の数値が低い。この点は、学校と保護者の連携が深められるように、学校としても努力していきたいと考える。
- ② 次に、年度当初より、教師の長時間勤務の解消が課題であり、意識してワークライフバランスをはかるために、業務改善に全職員で努力してきた。しかし、部活動、教科準備、家庭連絡等に時間を費やし、労働基準局の言う目安の80時間以上を超えて勤務する教師もいた。しかし、本校の教育活動が真に生徒の心技体の成長を促すため、職員は、事前指導・活動・事後指導を妥協せずに行っている。そのため、行事等の前後は時間的に厳しく、80時間を超えてしまう月もあった。その中で、部活動については、休養日の設定を図るなどで、時間数的には大幅に短縮された。いずれにしても、職員の健康維持のために、国や市のガイドラインについて保護者の皆様に理解を得、健全な部活運営を含め、長時間勤務の解消に努力していきたい。
- ③ 来年度の課題
 - ・部活動の適正運営
 - ・道徳の教科化
 - ・国際理解教育の推進
 - ・標準服の見直し
 - ・夏季休業期間の短縮